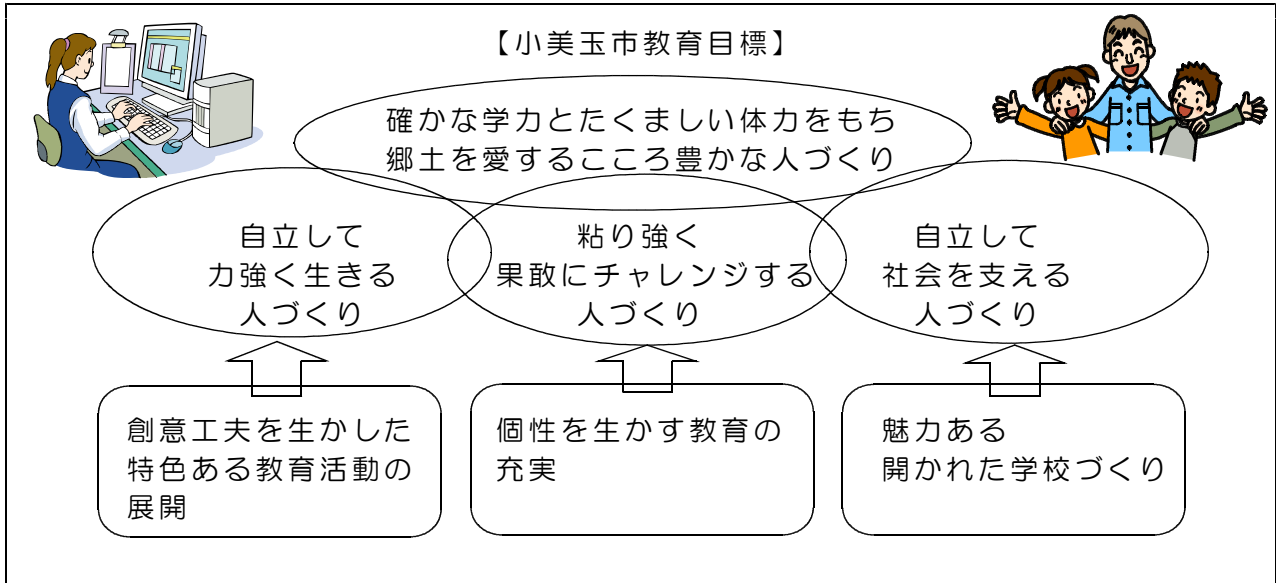


小美玉市小中一貫教育基本方針

平成 28 年 6 月

小美玉市教育委員会

1 小美玉市が目指す学校教育



本市では、「確かな学力とたくましい体力をもち、郷土を愛するところ豊かな人づくり」を教育目標に掲げ、次のような施策により、その具現化を図っている。

(1) おおしく輝く人づくり

◎ 確かな学力を身に付けさせる教育の推進

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 国際理解教育の充実
- 情報教育の充実と情報モラルの定着
- 理数教育の充実

◎ 豊かな心を育む教育の推進

- 人を思いやる豊かな人間性の育成
- さわやかなあいさつ運動の推進
- いじめの未然防止，早期解消
- 児童生徒の悩みや不安の解消
- 夢や志をもって粘り強くチャレンジする心の育成

◎ 健康や体力を育む教育の推進

- 児童生徒の健やかな体づくり
- 健康教育や安全教育の充実
- 心豊かな人間関係づくり
- 食育の推進

(2) 魅力あふれる学校づくり

- 地域との連携と交流の推進
- 開かれた学校づくり
- 教員が児童生徒と向き合う時間の確保

(3) たゆまず励む教員づくり

- 教員の指導力向上
- 校長のマネジメントによる学校経営の推進
- 学校改善プランに基づく取組の充実
- 幼小中連携の推進
- 特別支援教育の充実

2 小中一貫教育に取り組む背景

(1) 学校が抱える教育課題から

小美玉市では、これまで、小中学校それぞれにおいて、各学校や地域の特色を生かしながら、知・徳・体のバランスの取れた児童生徒の育成を目指してきた。また、小中学校の接続を配慮し、学習指導や生徒指導、特別支援教育など、様々な側面から、情報を共有して連携を進めてきた。これらの取組により、少しずつ成果はあがりつつある。

しかし、学力向上、不登校の解消、いじめの撲滅、インクルーシブ教育の推進等々、直面する教育課題の解決に向けて、いっそうの教育活動の充実が求められている。

そこで、これらの課題を解決し、小美玉市が目指す教育目標を具現化するための切り口として、小中一貫教育に取り組んでいく。

(2) 小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画から

小美玉市では、少子化の進展による児童生徒数の減少から、小中学校の小規模化が進んでいる。特に小学校においては、単学級（1学年1学級）の学校が半数以上を占め、さらに学校の小規模化が進むと、教育活動への影響も懸念される。

また、築50年を経過し、耐震性等に課題が生じている学校施設もある。

そこで、これらの課題を解消するために、平成22年に設置された小美玉市学校規模配置適正化検討委員会からの答申を指針としながら、平成27年2月に小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画が策定された。

施設整備計画の概要は、次の通りである。

学 校	整備予定年度	整備予定地	児童生徒数(推計)	学級数(見込み)
小川南中学校	H27～H28	旧小川高校	297人	9学級
小川・橘統合小学校	H27～H30	小川南中学校	505人	18学級
玉里・玉里北・ 玉里東統合小学校 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">小中一貫校</div> 玉里中学校	H29～H32	玉里小学校・ 玉里中学校	372人 185人	13学級 6学級
野田・上吉影・ 下吉影統合小学校	H31～H34	小川北中学校周辺	391人	13学級

【児童生徒数は開校予定年度の推計、学級数は1学級35人で算出】

この整備計画により、玉里中学区では一体型の小中一貫校が開設されることとなり、小川南中学校区、小川北中学校区においても隣接型・併設型の小中一貫教育が可能となった。

3 小中一貫教育で期待される教育的効果

(1) 「おおきく輝く人づくり」にかかる効果

- ア 小中学校で、教育目標や目指す児童生徒像を共有することにより、発達段階ごとの育てたい力が明確になり、より個に応じた指導が可能になる。
- イ 小学校教育のきめ細かな指導と中学校教育の専門性を生かした指導が、児童生徒の発達段階に応じて系統的に提供できる。
- ウ 小中学校の教員が協働して、9年間を見通した継続性のある指導を行うことにより、「中1ギャップ」の解消や不登校、問題行動等の減少が期待できる。
- エ 小中学生の異年齢交流や合同行事を通して、中学生にはリーダーシップや思いやりの育成が、小学生には夢や目標に向かうモデルの具象化が期待できる。

(2) 「魅力あふれる学校づくり」にかかる効果

- ア 小中学校の教育活動に一貫性が増すため、地域の教育力の活用が活性化し、より地域と密着した学校運営が可能となる。
- イ 9年間を見通した一貫性のある学校運営により、より特色ある教育活動の展開が期待できる。

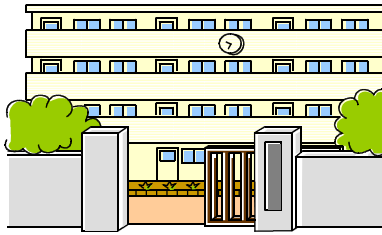
(3) 「たゆまず励む教員づくり」にかかる効果

- ア 小学校教員においては、教科指導の専門性や系統性における理解が深まり、学習指導力の向上が期待できる。
- イ 中学校教員においては、発達段階に応じたきめ細かな学習指導や生活指導の技能が高まり、指導力の向上が期待できる。
- ウ 小中学校教員がお互いの指導のよさを共有するとともに、9年間を見通した継続性のある指導を行うことで、総合的な指導力の向上が期待できる。

4 小美玉市小中一貫教育の基本的な考え方

- (1) 市内全小中学校で小中一貫教育を推進する。ただし、各中学校区の実態に応じて、段階的に移行するものとする。
- (2) 各地域や中学校区の特徴、施設設備の条件をふまえて、次の3つの形態で推進する。

一体型小中一貫教育 (玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中 統合小中学校)



統合小中学校

想定される小中一貫教育

- 義務教育学校としての開校を目指す。
- 小1から中3までの児童生徒が同じ校舎でともに学校生活を送る。
- 小中で統一した学校教育目標や重点目標を設定する。
- 義務教育9年間を通じた教育課程を編成する。(学年3区分制等)
- 小中教員乗り入れによる段階的な教科担任制を導入する。

隣接型・併設型小中一貫教育 (小川小・橘小統合小学校と小川南中) (野田小・上吉影小・下吉影小統合小学校と小川北中)

小川南中 ———— 統合小学校

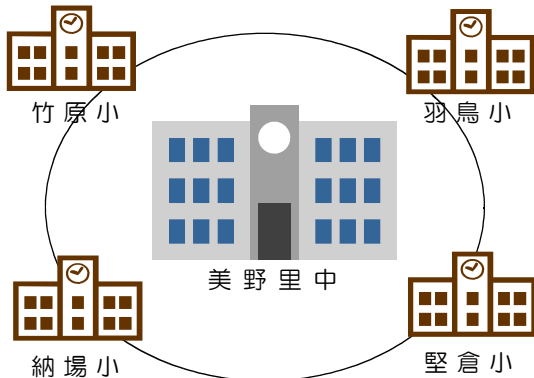


小川北中 ———— 統合小学校

想定される小中一貫教育

- 小中で連動した学校教育目標や重点目標を設定する。
- 学習指導や生徒指導の連動を図る。
- 小中教員による乗り入れ授業(一部教科)や出前授業を実施する。
- 学校行事等を連携して行う。

連携型小中一貫教育 (竹原小・羽鳥小・堅倉小・納場小と美野里中)



想定される小中一貫教育

- 中学校区としての教育目標や目指す児童生徒像を共有する。
- 小中や小小で学習指導や生徒指導にかかる情報を共有する。
- 小中教員の授業相互参観や研修会を実施する。
- 児童生徒の交流を推進する。

5 モデル校を核とした小中一貫教育の推進

小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画（平成27年2月）による，統合小学校及び統合小中学校の開校予定年度は，次の通りである。

- 【平成31年度】 小川小・橘小統合小学校
- 【平成33年度】 玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中統合小中学校
- 【平成35年度】 野田小・上吉影小・下吉影小統合小学校

上記のスケジュールを鑑み，それぞれの開校時には，想定される小美玉市小中一貫教育を完全実施できるよう，段階的に準備を進めていく。そのために，次の学校をモデル校に指定して，重点的に先行研究や実践を積み重ねていく。

(1) 隣接型・併設型モデル校【小川小・橘小統合小学校，小川南中学校】

- 主な研究・実践内容例
 - ・小中で連動した学校教育目標，重点目標の設定
 - ・小中で連続性のある学習指導や生徒指導
 - ・小中教員による乗り入れ授業（一部教科）や出前授業の実施
 - ・小中合同や連携しての学校行事の実施
 - ・小中合同での教員研修の実施

(2) 一体型モデル校【玉里小・玉里北小・玉里東小・玉里中 統合小中学校】

- 主な研究・実践内容例
 - ・9年間を通した学校教育目標，重点目標の設定
 - ・9年間を通した教育課程

前期（4年間）				中期（3年間）			後期（2年間）	
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
基本的な学習習慣や生活習慣の定着 基礎・基本の習得 活用力の育成				自主的な学習態度や生活態度の育成 基礎・基本の習熟 活用力の伸長 小中の円滑な接続			自主・自立の態度の確立 社会へつながる協働力の育成 進路目標の実現	
学級担任制 (一部教科担任制)						教科担任制		

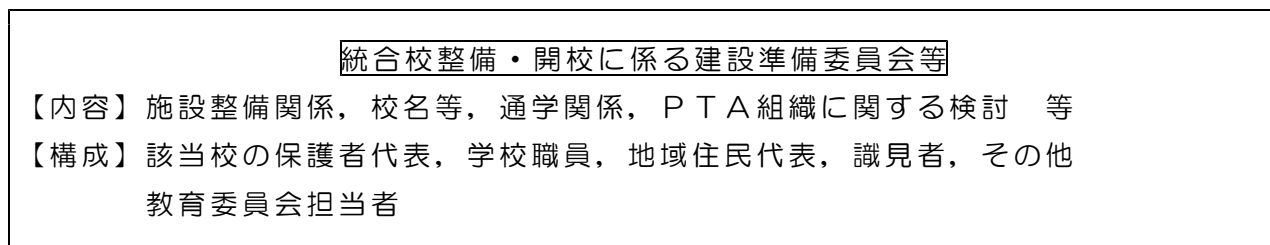
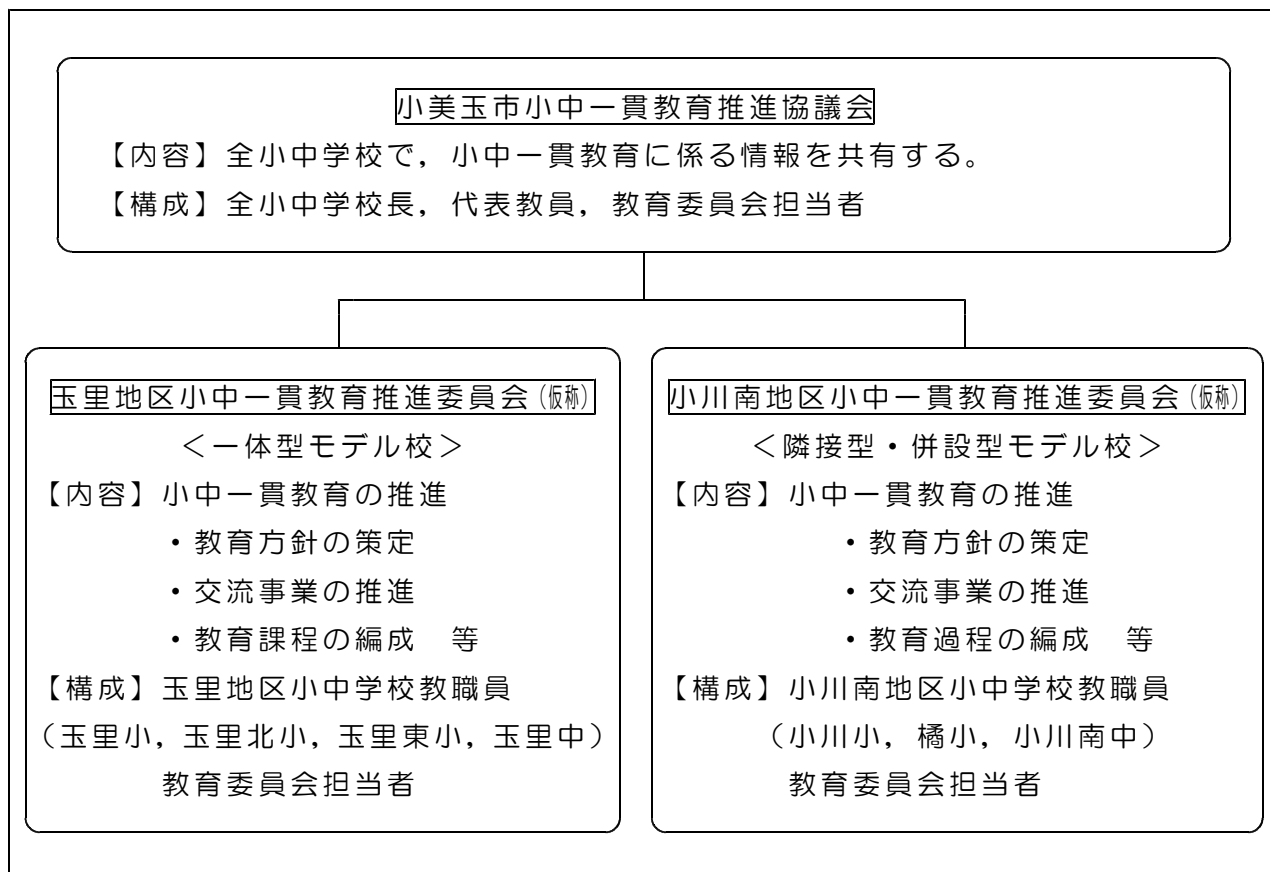
- ・9年間を通した学校生活や学習のスクールスタンダードの策定
- ・一体型小中一貫校における学校施設設備の効果的な活用方法
- ・一体型小中一貫校における効果的な教員配置や教員研修

前述のモデル校の研究成果を，市内各小中学校で共有することにより，それぞれの学校の形態や実態に合わせて，市内全小中学校で小中一貫教育を推進するものとする。

6 小中一貫教育推進のための組織

本基本方針に沿って，小美玉市における小中一貫教育及び施設整備を推進するために，以下の組織を置く。

(学校教職員による組織)



(学校関係者，地域住民等による組織)